

## 「親しき仲こそ、礼儀あり」

宮川 太一

2年生になり、あっという間に1カ月が経ちました。みなさん、新しいクラスには慣れてきましたか？新しい友達はできましたか？きっとこの1カ月は、不安の中で過ごした人が多かったのではないのでしょうか。けれども、きっと大丈夫です。これからはどんどんクラスの仲も深まり、居心地の良いクラスになっていきます。

さて、みなさんは「学校の先生」はどんな中学生だったと思いますか？考えてみてください……

きっと、人それぞれイメージがあると思います。ひとつ言えることは、先生たちもみなさんと同じように中学校に通い、中学校で色んな失敗や成功をしてきたということです。今日は私の中学校最大の失敗をみなさんにお伝えしようと思います。



それは、私が中学2年生の時。私は仲の良かった男子4人グループから、仲間外しに遭いました。私はいつも決まった4人のメンバーで行動を共にしていました。移動教室の時や昼休み、職場体験や修学旅行など、何か友達と一緒にやって行く活動の時は、いつもこのメンバーでした。この4人と居るときは学校がとても楽しく、時にはみんなで先生に怒られることもありました。ある日、私が登校し、いつものように「おはよう」とメンバーに挨拶をすると、全員から無視されました。私は全く意味が分からず、「え？どうしたん？」と聞きます。それでも何も答えは返ってきません。そしていつも一緒にいたあのメンバーは、私を避けるように教室を出ていきました。その時の光景は、今でも鮮明に覚えています。いつも同じメンバーと行動していた私は、そのメンバーが居ないと、移動教室も1人、楽しかった昼休みも1人。とても辛かったのを覚えています。そして、次の日私は学校を休みました。

学校を休んだ日の夕方、担任の先生が電話をくれました。「いつも元気な太一さんが休むなんて、珍しいな」と言われました。私は「ちょっとお腹が痛くて……」とごまかしました。すると先生は「友達と何かあったんだろう？」と言いました。私はドキッと、「何で分かるんですか？」と聞き返しました。すると担任の先生が「いつも一緒に居る友達の1人が先生のところに来て、休んでいるのは自分たちのせいじゃないかと心配している。」言ってきました。それを聞いた時、なぜかほっと安心したような不思議な気持ちになりました。詳しく聞くと、仲間外しをされた原因がわかりました。それは仲良しグループのうちの1人は、自分の名字にすごくコンプレックスをもっているのを私たちは知っていました。少し読みづらい名字で、新しく来た先生が間違えるとすごく腹を立てていました。私もそれを知っているので、そこは注意しながら彼と接していました。仲間外しをされる前日。何がきっかけかは覚えていませんが、彼の名字を私がいじってしまいました。その時の彼は、特にリアクションは無かったと思います。それが原因でした。次の日私は勇気を出して登校し、朝教室に入ってすぐ、彼に頭を下げて「本当に

ごめん！」と謝りました。すると彼は「俺もひどいことしてごめん！」と返してくれました。

その日から20年が経ちました。私は中学校を卒業して今年で20年になります。今年のGWに、地元で当時同じ学年だった全員（計150名）に声をかけ、同窓会をすることにしました。その友達も参加してくれます。彼と当時の話ができるのを楽しみにしています。

「親しき仲にも、礼儀あり」という言葉をみなさんは聞いたことがありますか？私はこの経験から「親しき仲こそ、礼儀あり」と学びました。みなさんも自分の近くの仲間を大切にしてください。くれぐれも私と同じような失敗はしないように・・・

2学年だより「DIAMOND」では、「感動」「学び」「気づき」をテーマに、定期的に2学年部職員から生徒や保護者の皆様に向けた寄稿文を掲載することになっています。我々教職員の経験談を通して、何かを感じていただければ幸いです。次回は5月17日発行、渡邊容子先生です。

## 第1回学年レク～百人一首大会～



4月18日（木）5限、2年生になってから初めてのクラスマッチ「百人一首大会」。体育館が2年生の歓声と笑顔で溢れました。結果は2年1組が1位、2年2組が2位でした。次は何をしてみんなで楽しむか・・・次回が楽しみです。

